

施策1 医療機能の充実・強化

多摩病院

| 取組項目 | 令和4年度の主な取組内容 | 取組目標名 | R4年度目標値 | 上半期実績値(※) | 年間想定値 | 達成率 | R3年度実績値(参考) |
|-----------------------------|---|--|-----------------|-----------|--------|--------|----------------|
| 取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化 | | | | | | | |
| ①救急医療 (初期・二次)の安定的な提供 | ①救急車搬送件数の確保 ②初期、後期研修医による救急診療の質の向上 | 救急車搬送件数 | 5,000件 | 2,170件 | 4,500件 | 90.0% | 4,147件 |
| | | 救急研修・教育 | 実施 (症候レクチャー) | 実施 | 実施 | - | 実施 (ICLSなど) |
| | | 小児輪番病院への参加 | 参加 | 参加 | 参加 | - | 参加 |
| ②災害医療機能の維持 | ①災害派遣医療チームの隊員の増員 ②災害訓練の実施 ③備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換 | 日本DMAT資格保持者人数 | 10名 | 9名 | 10名 | 100.0% | 9名 |
| | | 災害訓練の実施 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 3日以上の備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の確保と適切な補充・交換 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| ③パンデミック発生時の体制整備 | ①災害時感染制御支援チーム(DICT)の育成 ②シミュレーション訓練の実施 ③バックアップ人員の確保を含めた施設の整備 | DICTの育成人数 | 1名 | 0名 | 1名 | 100.0% | 0名 |
| | | シミュレーション訓練 | 実施 | 計画 | 実施 | - | 計画 |
| 取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充 | | | | | | | |
| ①集学的治療の推進 | ①化学療法の積極的な実施 ②消化器早期がんに対する低侵襲治療(特に内視鏡的粘膜切除)の技術向上による積極的な実施 ③肝がんに対する集学的治療(肝切除、局所治療、カテーテル治療、全身化学療法)の推進 ④消化器がんを中心とした手術の積極的な実施 ⑤「地域がん登録」、「全国がん登録」への参加 | 化学療法の件数(抗がん剤混合調整業務における外来1抗悪性腫瘍剤の延べ患者数) | 1,900人 | 984人 | 1,968人 | 103.6% | 1,617人 |
| | | 消化器早期がんに対する低侵襲治療件数 | 10件 | 5件 | 10件 | 100.0% | 21件 |
| | | 肝がんに対する集学的治療件数 | 30件 | 33件 | 66件 | 220.0% | 61件 |
| | | 消化器がんを中心とした手術の積極的な実施件数 | 600件 | 193件 | 386件 | 64.3% | 369件 |
| | | 「地域がん登録」、「全国がん登録」への登録件数 | 652件 | 330件 | 660件 | 101.2% | 589件 |
| ②緩和ケア医療の推進 | ①緩和ケア研修会受講済の医師(身体・精神)の安定的な確保 ②緩和ケアチームの活動の拡充 ③地域の医療従事者を対象とした緩和ケア研修会の実施 ④緩和ケア病棟の開設準備、整備、運用 | 緩和ケア診療加算の算定件数(算定可能な精神科医師が着任次第) | 42件 | 0件 | 33件 | 78.6% | 0件 |
| | | 緩和ケアチーム介入患者数 | 51人 | 33人 | 60人 | 117.6% | 0人 |
| | | 緩和ケア研修会の実施回数 | 2回 | 1回 | 2回 | 100.0% | 0回 |
| ③がん相談体制等の充実 | ①がん相談支援センター(がん相談専門員)等の設置 へ向けた検討 | がん相談支援センター等の設置 | 検討 | 検討 | 検討 | - | 検討 |

※R2.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

| 取組項目 | 令和4年度の主な取組内容 | 取組目標名 | R4年度目標値 | 上半期実績値(※) | 年間想定値 | 達成率 | R3年度実績値(参考) |
|--|---|------------------------------|---------|-----------|-------|--------|-------------|
| 取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実 | | | | | | | |
| ①チーム医療の推進 | ①栄養障害による入院期間延長の改善、短縮、及び、栄養サポートチーム加算の施設基準（NST専従者の配置）への支援 ②緩和ケアチームによるがん患者・非がん患者、家族の全人的苦痛緩和の実施 ③認知症ケアチームによる認知症ケア及びせん妄ケア対応の推進（薬剤の適正使用を重視した薬物療法・多職種協働による非薬物療法の強化・退院支援の強化） ④褥瘡対策チームによる褥瘡（床ずれ）の防止等 ⑤摂食嚥下チームによる誤嚥防止 ⑥専門資格の取得支援 | 栄養サポートチーム回診延べ患者数 | 250人 | 64人 | 450人 | 180.0% | 0人 |
| | | 緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数 | 51人 | 9人 | 20人 | 39.2% | 0人 |
| | | 認知症ケア加算1の算定 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 認知症ケアチームの回診（週2回）対応患者数 | 120人 | 79人 | 152人 | 126.7% | 135人 |
| ②高度・専門医療の展開 | ①循環器内科でのアブレーションを含めたインターベンションの拡充 ②脳神経外科による脳卒中急性期医療の整備 ③消化器・一般外科での手術支援ロボットを用いた手術の展開 ④泌尿器科での前立腺がん疑いに対するトリニティーを用いた経会陰的前立腺針生検により、前立腺がん検出率を向上させ、前立腺がん患者に対し手術支援ロボットを用いた前立腺全摘手術を展開 ⑤ISO15189・I&Aの認定と評価に基づく実践 ⑥末梢血幹細胞移植の環境整備 ⑦角膜移植の実施及び眼科外来の環境整備 | アブレーション実施件数 | 100件 | 25件 | 50件 | 50.0% | 36件 |
| | | 脳神経外科カテーテル手術件数 | 36件 | 10件 | 20件 | 55.6% | 32件 |
| | | 直腸がん手術件数 | 30件 | 24件 | 48件 | 160.0% | 53件 |
| | | 前立腺針生検件数 | 96件 | 56件 | 112件 | 116.7% | 107件 |
| | | 前立腺がん手術件数 | 24件 | 12件 | 24件 | 100.0% | 19件 |
| 取組項目(4) 医療安全の確保・拡充 | | | | | | | |
| ①医療安全の強化 | ①医療事故の防止、及び事故発生時の迅速な対応 ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師配置の継続と薬剤師の配置に向けた検討 | 医療事故の防止及び迅速な対応（参考：事故報告件数） | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置（届出） | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| ②院内感染対策の推進 | ①感染管理の資格を有するスタッフ（医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師）の増員と配置 ②全職員の感染対策に関する知識・実践行動の強化 ③感染制御チームによる活動の推進 | 感染管理の資格を持つスタッフの確保人数 | 7名 | 8名 | 10名 | 142.9% | 7名 |
| | | 全職員の感染対策に関する知識・実践行動の強化 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 感染制御チームによる活動の推進 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| 取組内容の状況と分析、今後の方向性 | | | | | | | |
| <p>【取組内容の状況と分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急・災害医療機能の強化：コロナ第7波の影響もあって救急車搬送件数は目標を下回る状況となっている。 がん診療機能の強化・拡充：がんに対する迅速で的確な医療が進められている。緩和ケア診療加算は体制整備に注力した。 高度・専門医療の確保・充実：それぞれチーム医療の体制充実を進めている、また、高度・専門医療については、コロナの影響を受けつつ、目標に向け進めている。 医療安全の確保・拡充：院内感染対策を含む医療安全の体制を維持、充実している。 <p>コロナ対応も3年目を迎え、第7波の影響を受けつつも前年度の実績を概ねクリアできる気配がうかがえる。</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急・災害医療機能の強化：コロナによる制限等が想定される状況ではあるが、災害医療のみならずパンデミックも想定しながら体制を充実させたい。 がん診療機能の強化・拡充：集学的治療を継続して進める。また、緩和ケアのスタッフ充実とともに、体制を強化し、活動を推進していきたい。 高度・専門医療の確保・充実：引き続きチーム医療を進めるとともに、高度・専門医療の一層の充実を図りたい。 医療安全の確保・拡充：引き続きより一層の強化、充実を図りたい。 <p>市民に貢献できるよう、第8波以降のコロナの動向を念頭にいれながら医療機能の充実、強化を進める。</p> | | | | | | | |

※R2.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策2 地域完結型医療の推進

多摩病院

| 取組項目 | 令和4年度の主な取組内容 | 取組目標名 | R4年度目標値 | 上半期実績値(※) | 年間想定値 | 達成率 | R3年度実績値(参考) |
|---|---|---------------------|---------|-----------|-------|-----|-------------|
| 取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進 | | | | | | | |
| ①地域医療支援病院の運営と強化 | ①登録紹介医制度の推進 ②検査機器等の共同利用の推進 | 登録紹介医制度の推進 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 検査機器等の共同利用の推進 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| ②地域包括ケアシステムの推進 | ①「病院と在宅ケアネットワークの会」の充実 ②地域医師会との懇談会の定期開催 ③登録紹介医施設への訪問活動 | 「病院と在宅ケアネットワーク会」の充実 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 登録紹介医との懇談会の定期開催 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 登録紹介医施設への訪問活動 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| 取組内容の状況と分析、今後の方向性 | | | | | | | |
| <p>【取組内容の状況と分析】 コロナ感染対策を考慮し、多摩区市民館大ホールで「登録紹介医の会」を開催するなど、登録紹介医をはじめとする地域の医療者との関係の維持・構築を進め、地域医療支援病院として、登録紹介医制度、検査機器等の共同利用を推進する。</p> <p>【今後の方向性】 来年3月にも多摩区市民館大ホールでの「登録紹介医の会」の開催を予定している。これに加え、10月の非紹介患者加算の増額を機に、地域医療支援病院としての役割をあらためて確認し、体制を確保し工夫しながら地域の医療者とともに地域完結医療に貢献していきたい。</p> | | | | | | | |

※R2.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

| 取組項目 | 令和4年度の主な取組内容 | 取組目標名 | R4年度目標値 | 上半期実績値(※) | 年間想定値 | 達成率 | R3年度実績値(参考) |
|---------------------|---|---------------------|---------|-----------|-------|--------|-------------|
| 取組項目(1) 人材の確保・育成の推進 | | | | | | | |
| ①医療従事者の安定的な確保 | ①質の高い医療・看護の安定的な提供や医療機能の強化、働き方改革を踏まえた適正な人員配置等に向けた医療従事者確保の取組を推進 ②病院実習生の受入れ ③病院見学 ④インターンシップの受入れ | 基幹型臨床研修医の受入人数 | 22名 | 22名 | 22名 | 100.0% | 21名 |
| | | 内科専門医プログラムの受入人数 | 3名 | 2名 | 2名 | 66.7% | 5名 |
| | | 総合診療専門医プログラムの受入人数 | 6名 | 3名 | 3名 | 50.0% | 2名 |
| | | 新・家庭医療専門医プログラムの受入人数 | 6名 | 3名 | 3名 | 50.0% | 5名 |
| | | 医学生・看護学生等の実習受入人数 | 230名 | 205名 | 410名 | 178.3% | 238名 |
| | | 看護学生等の実習校数 | 9校 | 8校 | 16校 | 177.8% | 11校 |
| | | 看護学生等の実習数 | 9実習 | 15実習 | 30実習 | 333.3% | 24実習 |
| | | インターンシップ受入人数 | 180人 | 73人 | 146人 | 81.1% | 74人 |
| ②職員の専門能力の向上 | ①提供する医療・看護の質の向上を図るため、臨床研修指導医・専門資格取得・研修受講の促進 ②認定看護師資格取得の推進 ③特定行為研修受講の推進 ④診療情報管理士の安定的な確保 | 臨床研修指導医数 | 53名 | 50名 | 50名 | 94.3% | 50名 |
| | | 認定看護師数 | 12名 | 11名 | 11名 | 91.7% | 11名 |
| | | 特定行為研修修了者数 | 4名 | 4名 | 4名 | 100.0% | 1名 |
| | | 診療情報管理士数 | 10名 | 7名 | 7名 | 70.0% | 7名 |
| ③学術活動への積極的参加 | ①学会、及び論文発表等の取組を推進 ②治験協力を推進 | 原著論文数 | 45件 | 3件 | 45件 | 100.0% | 124件 |
| | | 症例報告論文数 | 20件 | 7件 | 20件 | 100.0% | 15件 |
| | | 学会・研究会発表数 | 150件 | 70件 | 150件 | 100.0% | 307件 |
| | | 治験・市販後調査実施数 | 13件 | 5件 | 10件 | 76.9% | 3件 |
| | | 競争的研究資金獲得数 | 6件 | 6件 | 6件 | 100.0% | 3件 |

※R2.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

| 取組項目 | 令和4年度の主な取組内容 | 取組目標名 | R4年度目標値 | 上半期実績値(※) | 年間想定値 | 達成率 | R3年度実績値(参考) |
|--------------------------------|---|-------------------|----------|-----------|----------|--------|-------------|
| 取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進 | | | | | | | |
| ①働きやすい職場づくり | ①医師事務作業補助者の確保・充実 ②看護助手の増員(日勤・夜勤) ③入退院支援業務の拡充 ④NP(Nurse Practitioner)の増員 ⑤業務のイノベーション(リモートワーク・時差出勤) ⑥デジタル化(RPA(Robotic Process Automation))の推進 | 医師事務作業補助者数 | 20名 | 17名 | 20名 | 100.0% | 18名 |
| | | 看護補助者人数 | 78名 | 78名 | 78名 | 100.0% | 68名 |
| | | 看護補助者人数のうち、夜勤従事者数 | 11名 | 9名 | 11名 | 100.0% | 8名 |
| | | NPの人数 | 4名 | 3名 | 3名 | 75.0% | 4名 |
| ②タスクシフトの推進 | ①入退院支援業務の拡充 ②病棟薬剤師の業務拡大 ③療法士による病棟リハの拡大 ④看護補助者の増員 | 入院時入退院支援センター介入件数 | 2,000件 | 1,102件 | 2,204件 | 110.2% | 1,998件 |
| | | 病棟薬剤師の業務時間数 | 38,000時間 | 17,840時間 | 35,680時間 | 93.9% | 31,496時間 |
| | | リハビリテーション提供患者数 | 50,000人 | 18,018人 | 36,036人 | 72.1% | 37,501人 |

取組内容の状況と分析、今後の方向性

【取組内容の状況と分析】
 ・人材の確保・育成の推進：コロナ第7波による制限もあって目標を下回る項目も見られるが、コロナ感染防止に留意しながら人材確保に向けて進めている。
 医科大学の附属病院というメリットを活かし、医療従事者の安定的な確保、および、職員の専門能力の向上等育成を進める。
 学術活動への参加については、年度途中のため相当数の申告の遅れにより、目標値に比べ件数は少なめな数値となっていることが予想される。
 ・働き方・仕事の進め方改革の推進：タスクシェア/タスクシフトを進め、患者さんに満足いただけるようスタッフの確保・充実する。
 ウィズコロナとなり、第7波の影響を受けつつも前年度の実績を概ねクリアできる気配がうかがえる。

【今後の方向性】
 医科大学の附属病院というメリットを活かし、人材の確保・育成、働き方・仕事の進め方改革の両輪を推進しながら、2024年へ向けDx化をあわせて効果的・効率的な環境づくりを進める。

※R2.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策4 患者に優しい病院づくり

多摩病院

| 取組項目 | 令和4年度の主な取組内容 | 取組目標名 | R4年度目標値 | 上半期実績値(※) | 年間想定値 | 達成率 | R3年度実績値(参考) |
|---|---|------------------------|---------|-----------|-------|--------|-------------|
| 取組項目 患者サービスの向上 | | | | | | | |
| ①分かりやすい情報提供 | ①ホームページのリニューアルと内容の充実 ②ライフマークコンシェルジュのプッシュ通知機能を用いた情報発信 ③デジタルサイネージを用いた情報発信 | ホームページへのアクセス件数 | 30万件 | 14万件 | 30万件 | 100.0% | 24.2万件 |
| ②利用しやすい施設の強化 | ①医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化 | 医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| 取組内容の状況と分析、今後の方向性 | | | | | | | |
| <p>【取組内容の状況と分析】 患者さんの多様化にあわせ、ホームページを通じてわかりやすいサービスを提供する。院内では、一元化している患者窓口相談の各種相談への対応を充実させる。</p> <p>【今後の方向性】 患者相談窓口での対応に加え、リニューアルしたホームページをより充実させ、効果的な情報提供に努める。</p> | | | | | | | |

※R2.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策5 地域・社会への貢献

多摩病院

| 取組項目 | 令和4年度の主な取組内容 | 取組目標名 | R4年度目標値 | 上半期実績値(%) | 年間想定値 | 達成率 | R3年度実績値(参考) |
|--|---|------------------------|---------|-----------|-------|--------|-------------|
| 取組項目 地域・社会への貢献 | | | | | | | |
| ①市民に対する医学知識の普及啓発 | ①川崎市チャンネルへの動画掲載を含む市民健康講座の開催 ②ミニ市民講座の開催 | 市民健康講座の開催(動画版含む) | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | ミニ市民講座の開催 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| ②環境を意識した病院経営 | ①冷房用熱源設備(スクリーチャー冷凍機)の運用 ②空調及び熱源設備の機能維持のため、省エネ効果がある部品類の整備交換 ③LED照明への更新継続 ④各部署での省エネチェックシート記入継続(省エネ・節電実施の意識向上を目的) | 冷房用熱源設備(スクリーチャー冷凍機)の運用 | 運用 | 運用 | 運用 | - | 更新 |
| | | 省エネ効果がある部品類の整備交換率 | 50.0% | 30% | 50% | 100.0% | 30.0% |
| | | LED照明の導入割合 | 50.0% | 49.2% | 49.2% | 98.4% | 48.7% |
| | | 省エネチェックシート記入率 | 94.0% | 73.0% | 73.0% | 77.7% | 90.1% |
| 取組内容の状況と分析、今後の方向性 | | | | | | | |
| <p>【取組内容の状況と分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民に対する医学知識の普及啓発：市民健康講座のYouTube発信に加え、FMかわさきの医療情報コーナーで月1回“知って安心！かわさきメディカルインフォ”の発信を開始している。 環境を意識した病院経営：コロナの波を意識しながら、少しずつ進めている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民に対する医学知識の普及啓発：市民健康講座のYouTube発信、および、FMかわさきの医療情報コーナーで月1回“知って安心！かわさきメディカルインフォ”の発信を継続する。 環境を意識した病院経営：コロナ第8波を見据え、タイミングを見ながら進める。 | | | | | | | |

※R2.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策6 強い経営体質への転換

多摩病院

| 取組項目 | 令和4年度の主な取組内容 | 取組目標名 | R4年度目標値 | 上半期実績値(※) | 年間想定値 | 達成率 | R3年度実績値(参考) |
|--|---|---------------------------------------|---------|-----------|--------|--------|-------------|
| 取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進 | | | | | | | |
| ○収入確保に向けた取組の推進 | ①医療機能の充実・強化による診療収益の確保 ②精度の高い診療報酬請求 ③未収金催告・督促の強化 | レセプト査定率 | 0.35% | 0.35% | 0.35% | 100.0% | 0.46% |
| | | 催告・督促総件数 | 400件 | 1,066件 | 2,000件 | 500.0% | 831件 |
| 取組項目(2) 経費節減・抑制の強化 | | | | | | | |
| ○経費節減・抑制に向けた取組の推進 | ①適正な在庫管理 ②負担軽減検討のためのワーキンググループの開催 | 4病院統一購入による単価・購入価の減額 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 負担軽減検討のためのワーキンググループの開催 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| | | 業務効率化のための業務可視化・課題の抽出 ワークフロー・改善策の作成 | 実施 | 実施 | 実施 | - | 実施 |
| 取組項目(3) 経営管理体制の強化 | | | | | | | |
| ○経営管理体制の強化に向けた取組の推進 | ①幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知 ②経営企画会議の開催 | 幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知率 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| | | 経営企画会議の開催回数 | 12回 | 6回 | 12回 | 100.0% | 12回 |
| 取組内容の状況と分析、今後の方向性 | | | | | | | |
| <p>【取組内容の状況と分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入確保に向けた取組の推進：現状レセプト査定率の改善に加え、再審査請求もあわせて行っている。また、新型コロナウイルス感染症の医療費公費負担に関する交渉を含め、催告・督促件数が増大している。 ・経費節減・抑制の強化：適正な在庫管理のほか、働き方改革もあわせた会議の中で負担軽減の検討を行っている。 ・経営管理体制の強化：管理運営会議を通して定期的に各職員へ周知を行っている。また、経営企画会議を月1回開催し、課題の抽出、評価、対策、改善を行っている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入確保に向けた取組の推進：現状のレセプト査定率の維持、向上に努めるとともに、あらためて診療報酬の算定状況を検証し、収入確保につなげていきたい。 ・経費節減・抑制の強化：ウィズコロナとなり、一層ムリ・ムダ・ムラをなくし収入確保、経費抑制の強化に努める。 ・経営管理体制の強化：スタッフの一層の整備に努め、体制強化を進める。 | | | | | | | |

※R2.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。